

Java 1.7.0 の問題について

2012年6月5日 Falcon System Consulting, Inc.

■はじめに

Java をバージョン 6(ビルド 1.6.0)からバージョン 7(ビルド 1.7.0 以上)にバージョンアップした場合、WisePoint および、WisePoint-Gateway の認証時に不具合が発生する場合があります。本資料に記載された障害が発生する可能性のある製品およびバージョンは以下の通りです。


- ① WisePoint 全バージョン
発生条件：JavaApplet を利用する認証を利用している場合
- ② WisePoint-Authenticitor 全バージョン
発生条件：WisePoint-Gateway で JavaApplet を利用する認証を利用している場合

Windows PC で以下の認証を利用した場合に JavaApplet を利用します。

- ・イメージングマトリクス認証
- ・マトリクスコード認証
- ・J パスワード認証

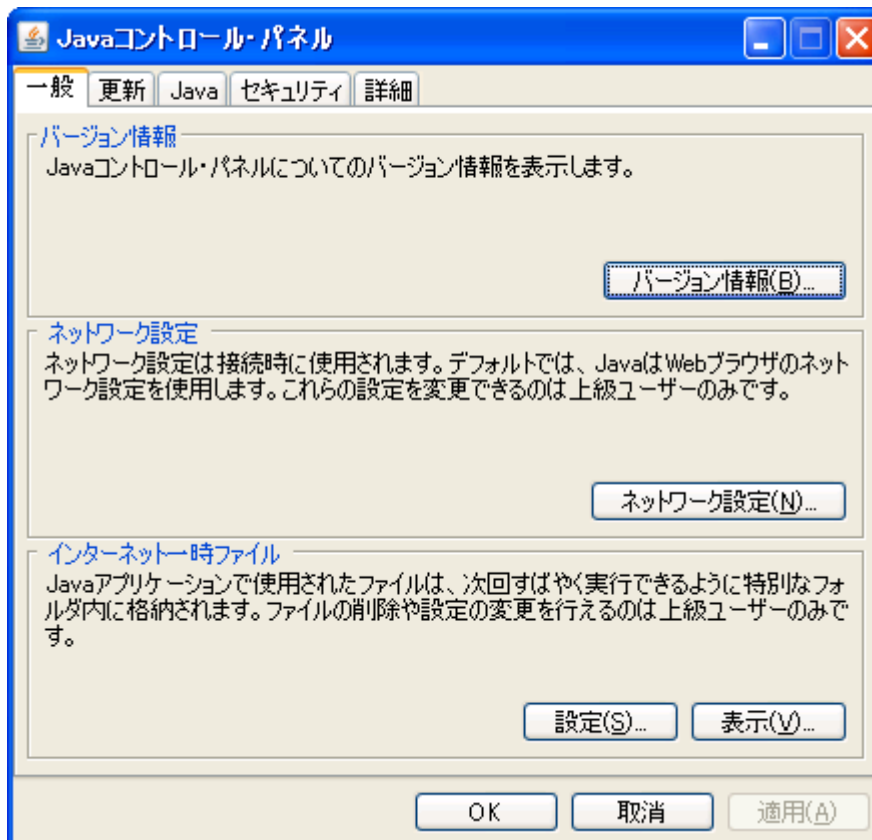
■Java コントロールパネルについて

障害の対応やバージョンの確認のために、Java コントロールパネルを利用します。ここではJava コントロールパネルの起動方法について説明いたします。

①「コントロールパネル」から  を選択します。

Java

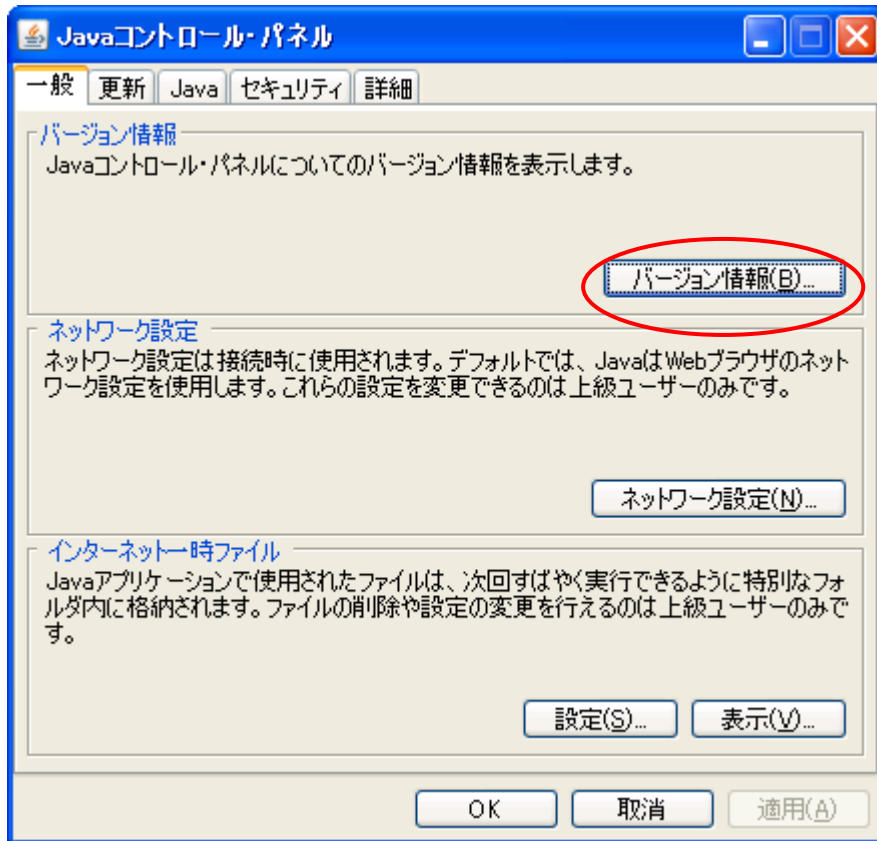
②以下のようなJava コントロールパネルが表示されます。



■バージョンの確認方法

Java のバージョンの確認は、以下の通りです。

- ①Java コントロールパネルを起動します。
- ②Java コントロールパネルが表示されましたら「バージョン情報」ボタンを押します。



- ③以下のような画面が表示されますので、以下の赤丸の部分をご確認ください。



■現象と対処方法

現象：

Internet Explorer を利用して、JavaApplet を使用した認証画面が表示されるときに、イメージマトリクス認証画面が表示されず、画面が真っ白になります。

原因：

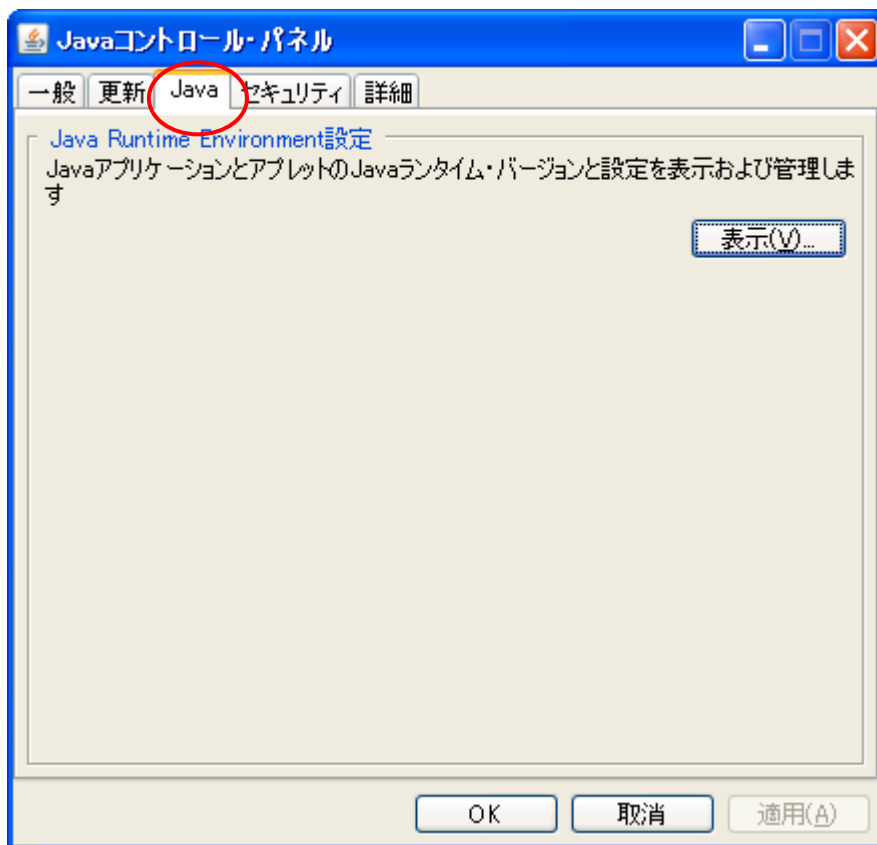
プログラムの互換性のエラーが出ますが、Java7 を新規インストールした環境ではこのエラーは発生しませんので、Java6 の環境からアップデートした場合の問題だと思われます。

以前のバージョンでは一時ファイルを削除することで改善されましたが、本件にしましては、一時ファイルの削除では改善されない場合があります。

対処方法：

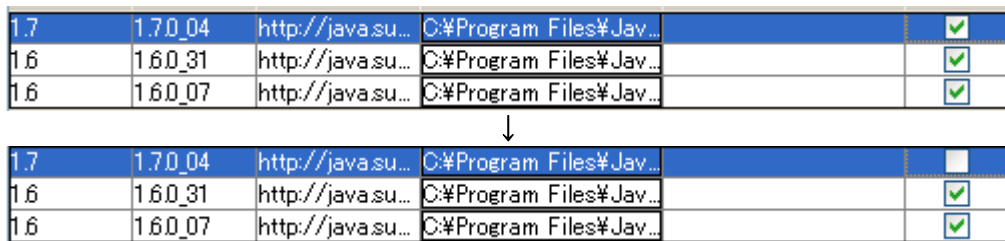
確実な対処方法がないため、Java 7 をインストールして利用する場合は以下の設定をおこない、Java6 で動作するようにしてください。

- ①Java コントロールパネルを起動します。
- ②以下の画面で「Java」タブを選択します。
- ③「表示」ボタンをクリックしてください。





④ 「プラットフォーム」が「1.7」の「有効」のチェックをはずしてください。



⑤ 「OK」ボタンを押します。



WisePoint を使用しない場合は、上記設定を元に戻してご利用ください。